

---

年 組 名前

---

次の（ ）に入る言葉をスライドプリントから探して記入しましょう（20点満点）

＜人間の成長・発達の過程＞

1. 人間の成長・発達の過程とは、人間が人間的な（ ア ）の中で生活様式を一つ一つ学びながら、人間として形成されていく過程であり、また、さらに新しい生活様式を生み出し、それを（ イ ）に伝えていく過程であるといえる。
2. 人間発達の諸理論の中で、生命体には自己実現への潜勢力が内在すると考えたのは（ ウ ）である。
3. フランスの思想家である（ エ ）は、子どもは生まれるとき、すでに自分自身の感性を備えていると考え、人間の発達を5つに区分した。
4. スイスの心理学者であるピアジェは、（ オ ）から社会性への社会化のプロセスが発達であると主張した。
5. フロイトの（ カ ）理論では、人はリビドーと呼ばれる性（生）的エネルギーをもって生まれるとされている。
6. エリクソンは、人間の発達を（ キ ）段階に分けており、人間の社会的な面についても考慮したうえで、（ ク ）期にまで及んだ精神社会的な発達段階を示した。
7. 教科書に載っている成長・発達の過程のうち、保護者に全面的に依存し、人間としての基本的な特徴を身につけ始める0～1歳頃の時期を（ ケ ）期という。この頃は、母体から得た（ コ ）が失われる時期である。また、保護者の愛情と注意深い観察に支えられて人間として成長していく。
8. 教科書に載っている成長・発達の過程のうち、心身の成長・発達が著しく、心身の均衡が崩れやすい1～5歳頃の時期を（ サ ）期という。この頃は、親からの身体的な自立と（ シ ）がみられるとともに、基本的な生活習慣を獲得する。また、集団生活の開始とともに、社会に広がりを見せ、しつけや協調性を学びながら、（ ス ）の基礎づくりが行われる。
9. 教科書に載っている成長・発達の過程のうち、学校などの集団生活の中で社会性を身に付けながら、集中的に学習するのに適した6～12歳の頃を（ セ ）期という。この頃は、学習と（ ソ ）の分化が行われる。身体面や情緒面は、比較的安定した時期である。
10. 教科書に載っている成長・発達の過程のうち、身体的な成長が著しく、異性への関心が高まり、自我意識が著しくなる13～19歳の頃を（ タ ）期という。この時期の最大の特徴は、（ チ ）がみられる

ことであり、子どもから大人への移行期に伴い、心身のアンバランスが生じやすい時期である。

11. 教科書に載っている成長・発達の過程のうち、心身共に成長し、社会活動に参加しながら、結婚して、新しい家族集団を作る 20～60 歳の頃を（ ツ ）期という。この時期は、職業集団の中で役割を果たしながら、その重圧に対し絶えず悩みながら生きている時期である。

12. 教科書に載っている成長・発達の過程のうち、65 歳以上の頃を指す老年期には、身体各部の（ テ ）がみられるが、身体的・精神的機能の衰退には個人差が大きい。

13. 成長・発達過程にある患者の看護をする看護師は、人間の成長・発達の過程と（ ト ）は関連しながら変化していくということを理解し、一人一人がその個性を生かしながら社会に適応して生きていけるよう援助することが大切である。